※令和４年度以降入学生用

学校番号	328

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「公共」（東京書籍）						
副教材等	「クローズアップ　公共 2023」（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現実社会の諸課題を見いだし、解決に向けて選択・判断の手がかりとなる考え方や「公共的な空間」における基本的原理を最初に学習します。それらを活用して、分野ごとに学習を進め、現代の諸課題を探究する学習活動に取り組みます。

一年間の学習を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することをめざします。

2　学習の到達目標

a 知識・技能

現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

b 思考・判断・表現

現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

c 主体的に学習に取り組む態度

よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めます。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付けている。	現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けている。現代社会に生きる人間としての在り方・生き方についての自覚や、公共的な空間に生きる公民として、平和と繁栄を図ることや、相互に尊重し、協力し合うことの大切さについての自覚を身に付けている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価基準	評価方法		
				a	b	c
1	第１部「公共」のとびら	第１章 公共的な空間を作る私たち	a 自らを成長させる在り方生き方、個人としての相互尊重、自らの価値観の形成と他者の価値観の尊重、よりよい公共的な空間を形成する自立した主体になることが自らのキャリア形成やよりよい社会の形成に結びつくこと等について理解している。教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 b 上記理解に基づき、多面的・多角的に考察し表現している。 c 理解・作業、考察・表現に主体的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査・提出物	提出物・授業態度
		第２章 公共的な空間における人間としての在り方生き方	a 個人や社会全体の幸福を重視する考え方、公正などの義務を重視する考え方、人間としての在り方生き方の探求がよりよく生きていく上で重要であること等について理解している。教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 b 上記理解に基づき、多面的・多角的に考察し表現している。 c 理解・作業、考察・表現に主体的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査・提出物	提出物・授業態度
		第３章 公共的な空間における基本的原理	a 公共的な空間における基本的原理、それを形成するうえで人間の尊厳と平等、共同の利益と社会の安定性の確保が必要であることについて理解している。教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 b 上記理解に基づき、多面的・多角的に考察し表現している。 c 理解・作業、考察・表現に主体的に取り組んでいる。			
2	第２部 自立した主体として社会に参画する私たち	第４章 私たちの職業生活	a 職業選択、雇用と労働問題を基に、活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている b 上記理解に基づき、多面的・多角的に考察し表現している。 c 理解・作業、考察・表現に主体的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査・提出物	提出物・授業態度
		第３章 経済社会で生きる私たち	a 市場経済、金融、財政・租税、社会保障などを基に、公正・自由な経済活動を通じた資源の効率的配分、市場経済システムや国民福祉の向上における政府の役割について理解している。教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 b 上記理解に基づき、多面的・多角的に考察し表現している。 c 理解・作業、考察・表現に主体的に取り組んでいる。			

※令和４年度以降入学生用

		第２章 法の働きと私たち	a 憲法の下、適正な手続きにより、法や規範に基づいて意見・利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停・解決すること等を通じ、権利・自由が保障・実現され社会の秩序が形成・維持されることについて理解している。教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 b 上記理解に基づき、多面的・多角的に考察し表現している。 c 理解・作業、考察・表現に主体的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査・提出物	提出物・授業態度
		第１章 民主政治と私たち	a 政治参加と公正な世論の形成、地方自治などを基に、憲法の下、個人が議論に参加し、意見・利害の調整による合意形成等により、よりよい社会が構築されることについて理解している。教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 b 上記理解に基づき、多面的・多角的に考察し表現している。 c 理解・作業、考察・表現に主体的に取り組んでいる。			
3	第２部 自立した主体として社会に参画する私たち	第５章 国際社会の中で生きる私たち	a 近代主権国家による国際政治、相互依存関係にある国際経済、その中での日本の役割などを基に、意見・利害の調整による合意形成等により、よりよい社会が構築されることについて理解している。教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 b 上記理解に基づき、多面的・多角的に考察し表現している。 c 理解・作業、考察・表現に主体的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査・提出物	提出物・授業態度
	第３部 持続可能な社会づくりに参画するために	－	b 地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、その課題の解決に向けて事実を基に共同して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。 c 作業・説明・論述に主体的に取り組んでいる。		提出物	提出物

※　表中の観点について　ａ：知識・技能　ｂ：思考・判断・表現　ｃ：主体的に学習に取り組む態度